

国際医療福祉大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（成田看護学部）

自己点検・評価結果

（2026年6月17日教務統括委員会、2026年6月18日自己点検・自己評価委員会 報告）

（応用基礎レベルプログラム概要）

本学は、2024年度から各学部において、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」に関連する授業科目を開講し、数理・データサイエンス・AI教育の充実を図っています。応用基礎レベルの関連科目では、統計学と情報工学を融合した実践的な教育を実施し、医療福祉分野をはじめとする多様な分野において、数理・データサイエンス・AIの知識と技術を活用できる人材の養成を目的としています。この目的を達成するため、社会的需要や動向を把握し、その内容をプログラムに反映させるべく、学生および産業界からの意見を踏まえた自己点検・評価を実施しています。

※本プログラムは、2025年8月に「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」において、文部科学大臣の認定を受けています（認定期限:2030年3月31日まで）。

なお、自己点検・評価項目については、当該認定制度における申請項目に準じて設定しています。

（自己点検・評価内容）

【対象期間:2025年4月1日～2026年3月31日】

自己点検・評価項目		実施内容	評価
学内からの視点	プログラムの履修・修得状況	成田看護学部における2025年度の履修者数および修了者数はいずれも0名であった。医療系学科では、国家試験の受験資格を取得するために多くの専門科目を履修する必要があり、制度上、教養科目や選択科目を多く履修することが難しい状況にある。このことが、本プログラムの履修に至らなかった要因の一つであると考えられる。今後も継続して、数理・データサイエンス・AIの学修意義や本プログラム修了により身に付く能力について、より分かりやすく説明し、学生の興味関心を喚起する必要がある。 以上を踏まえ、本項目に対する取組については、改善が必要であると判断する。	C
	学修成果	2025年度は履修者数および修了者数がともに0名であったことから、本項目については適切な評価点検はできないと判断する。	N
	学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	2025年度は履修者数および修了者数がともに0名であったことから、本項目については適切な評価点検はできないと判断する。	N
	学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	2025年度は履修者数および修了者数がともに0名であったことから、本項目については適切な評価点検はできないと判断する。	N
	全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	2025年度は履修者数および修了者数がともに0名であったことから、本項目に対する取組については十分な水準に達しておらず、改善が必要であると判断する。応用基礎レベルの構成科目はいずれも選択科目であることを踏まえ、今後も継続的な履修案内を行うとともに、学修の意義やプログラム修了により身に付く能力を分かりやすく発信することで、履修者数および履修率の向上を図っていく。	C
学外からの視点	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本プログラムは2024年度に開始したため、現時点では修了生はすべて在学中の学生である。2027年度に第1期修了生が卒業予定であることから、2028年度以降にアンケート等を通じて、修了生の活躍状況や企業等からの評価を把握する予定である。	N
	産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	公益財団法人とデータ提供に関する協定を締結し、そのデータを関連科目の演習教材として利用している。これに加え、毎年、自己点検・自己評価委員会において学外委員から意見を聴取し、その内容を数理・データサイエンス・AI教育プログラム検討WG（以下「検討WG」）にて共有している。また、2024年度から医療福祉分野データサイエンス教育ワークショップを主催し、学内外の参加者から幅広く意見を収集している。今年度は第2回目の開催となり、学内外から約70名の参加があった。 以上のとおり、外部の視点を含めた意見を収集する体制の強化を進めるとともに、それらの意見を授業科目の見直し等に活用する体制も整いつつあることから、今年度は一定の成果が得られたと判断する。	B

（自己点検・評価内容）

【対象期間:2025年4月1日～2026年3月31日】

自己点検・評価項目	実施内容	評価
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させる取組等	2025年度は履修者数および修了者数が0名であったことから、本項目に対する取組については十分な成果が得られておらず、改善が必要であると判断する。今後は数理・データサイエンス・AIを学ぶ楽しさや本プログラムを学修する意義が学生に伝わるよう、情報発信や周知方法の工夫を通じて、学生の興味関心を喚起する取組を強化する必要がある。	C
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とする取組等	検討WGにおいて、キャンパスの枠を超えた教員間の意見交換や、授業教材・シラバス・アンケート集計結果等の共有を行っている。これらの取組を通じて、学生にとってより分かりやすい授業の実現を目指し、授業内容および教育方法の継続的な点検・改善を実施している。	B

（評価基準） A：十分な水準・成果がある、B：ある程度の水準・成果がある、C：改善が必要である、N：現時点では判断できない

作成：数理・データサイエンス・AI教育プログラム検討ワーキンググループ

応用基礎レベルプログラムの履修・修得状況

(2025年度時点)

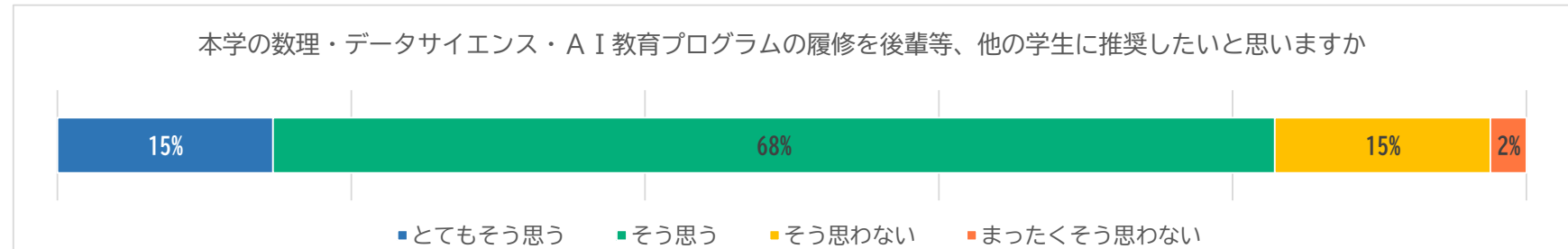
学部・学科名称	収容定員	2024年度		2025年度		履修者数 合計	履修率	修了者数 合計	修了率
		履修者数	修了者数	履修者数	修了者数				
保健医療学部	2,220	0	0	0	0	0	0%	0	0%
医療福祉学部	570	0	0	1	1	1	0%	1	100%
薬学部	1,080	0	0	3	3	3	0%	3	100%
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	480	12	5	12	4	24	5%	9	38%
医学部	840			8	4	8	1%	4	50%
成田看護学部	400	1	0	0	0	1	0%	0	0%
成田保健医療学部	1,160	3	0	0	0	3	0%	0	0%
成田薬学部	240			0	0	0	0%	0	0%
小田原保健医療学部	800	0	0	0	0	0	0%	0	0%
福岡保健医療学部	880	9	0	23	0	32	4%	0	0%
福岡薬学部	720	0	0	0	0	0	0%	0	0%
合 計	9,390	25	5	47	12	72	1%	17	24%

※履修者数は、当該年度に初めてプログラム構成科目を1科目以上履修した人数を記載

※修了者数は、当該年度に全てのプログラム構成科目の単位を取得した人数を記載

後輩等他の学生への推奨度に関する調査

(2025年度履修者対象)



学修の必要性に関する調査

(2025年度履修者対象)

